

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんく松島教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い満足度と安心できる居場所	「安心して通える」「大切な居場所」といった評価があり、子ども・保護者双方にとって価値ある場となっている。	情報発信の強化 支援内容や安全対策について、分かりやすく発信していく。
2	共感的で丁寧な関わり	職員の関わり方に対する評価が高く、子どもの成長を支える関係性が築かれている。	地域交流の促進 地域との関わりや外部活動の機会を増やす。
3	柔軟で迅速な対応力	個別の状況に応じた対応や調整力が強みとなっている。	主体性を引き出す支援 自己選択や主体的な活動機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全・マニュアルの周知不足 保護者への説明や見える化が不足している	支援の質は高いが「見える化」が不足している	安全・支援の見える化 マニュアルや支援内容を保護者にも分かりやすく共有する。
2	支援の改善サイクルの弱さ 振り返りはあるが、改善までつながりにくい。	振り返りが仕組み化されていない	改善サイクルの強化 振り返りから改善までを一連の流れとして定着させる。
3	支援の統一性 職員間で理解や実践に差がある。	支援の基準が統一されていない	支援の標準化 支援方法や考え方を統一し、質の安定化を図る。